教科	公民	科目	倫理・政治経済選択（進学）	単位	3単位

１．教科書および副教材・参考書

『高等学校　政治経済』（第一学習社）　　『高等学校倫理』（第一学習社）

『政治経済資料集』（第一学習社）　　『新倫理ノート』（啓隆社）

『サクシード政経／公共』（啓隆社）

２．授業の目標および内容

この授業では，日本大学基礎学力到達度テスト「公共・政治経済」および「公共・倫理」の両方の問題が解ける力を養うことを目指します。授業では、はじめに昨年度の倫理の授業で未習となった分野を学習し、その後、政治経済の経済分野を扱います。さらに、基礎事項の確認に加えて問題演習を行い、知識の定着と応用力の向上を図ります。

基礎学力到達度テストの問題は、基本事項を問う問題が多く、基本的な内容を理解していれば得点しやすいため、全員が８割を獲得することを目標として、授業を進めていきます。２学期は他大学の一般入試問題の演習を行い、入試の形式に慣れます。

３．試験について

	1学期		2学期		3学期
定期試験	一次　5月	二次　7月	一次　10月	二次　12月	
学力試験	第1回　6月		第2回　9月		

内容・難易度について

① 定期試験：100 点満点で出題

範囲を定め、教科書・副教材の内容に入試レベルの問題を加えて出題します。

② 学力試験：100 点満点で出題

３年次に学習した内容に２年次に学習した内容も加えて出題します。

４．課題・補習について

適宜、必要に応じて行います。

５．評価の視点

定期テストの点数を基本に、平常点（小テストの結果、学力テストなど）を含め、総合的に評価点を算出します。

６．授業計画

学期	単　　元	学　習　内　容	備　考
1	【倫理】 ・青年期の課題と自己形成 ・日本固有の思想 ・外来思想の受容 ・町人意識のめざめと庶民思想 ・西洋思想との出会い 【政治・経済】 ・経済活動と福祉の向上 ・国際法の果たす役割 ・国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割	青年期：自己の在り方や生き方に関心をもたせ、青年期の課題を自分事として捉え、主体的に考察させます。 日本思想：日本固有の自然観や人間観に着目させ、ただの用語の暗記にならないよう思想の特徴を具体的事例と結び付けて理解させます。 経済分野：政治と経済の基本的な仕組みを関連付けて理解させ、現代社会の諸課題を主体的に考察できるようにさせます。	単元に関係する時事問題を新聞記事テレビなどのニュースを引用し、実践的な学習を行います。
2	【総合問題演習】	・基礎学力到達度試験にむけて、問題演習を繰り返します。 ・現代社会に起こる様々な問題を知るとともに、その解決方法を考えます。	単元に関係する時事問題を新聞記事テレビなどのニュースを引用し、実践的な学習を行います。